

◆水道事業について

〔問〕 全国では毎年1000件からの老朽化した水道管破裂事故がある。当市での事故、水道料金値上げを心配する声がある。

〔答〕 ①石綿管の布設替えの今後の計画は。②企業債償還を含めた財政状況は③水道料金値上げは。

〔答〕 水道課長 ①第一土地区画整理地内の石綿管布設替えは平成32年までで吉川駅北口まで、駅南側は平成33年から30年代で終わる見込み。②平成29年度がピーク、現在黒字である。③当面水道料金の値上げは無い。

美南地区などの通学路安全対策。今後の方向性は。

加藤 克明

〔問〕 埼玉県では、通学路の安全確保など改善をしていく方針を示している。県の動向を踏まえ今後の市の対応は。

〔答〕 都市建設部長 県の方針に基づき、平成28年度に概ね5年ごとの通学路安全総点検を実施。今後、通学路整備計画に基づき順次、対応していく。

〔問〕 27・28年度と中曽根小学校区に「ゾーン30」が規制された。国が打ち出した有効な手段であるが、幹線道路に囲まれている、生活道路が集まった市街地の区域にと区域設定があり、すべての通学路を指定できない今後、東中学校や旭小学校など区域設定外の安全対策は。

〔答〕 都市建設部長 文字強調表

示・路側帯カラー化・ハンブなど可能性を含め検討していく。

〔問〕 美南地区が交通規制されていない理由。警察署との協議の内容は。

〔答〕 都市建設部長 協議の中で、まちの成熟に合わせて規制をしていく考え。「ゾーン30」を中心に検討し、平成30年度を目標に担当として考えている。

〔問〕 区域割・年次計画はあるか。〔答〕 都市建設部長 3ブロックに分け、平成30年～32年で行う考えである。吉川駅南側の木売・高富・高久地区周辺については平成33年ごろに進めていく考えである。

乳がん検診等の検診率向上への取り組み

濱田 美弥

〔問〕 乳がん自己検診グラフを希望者に配布したり、複数人で声を掛け合い受診した時には市内でランチが割引になる等の特典を付け受診率向上を図っていく取り組みはいかがか。

〔答〕 健康福祉部長 市民まつり等で正しい自己検診方法の周知を行っている。母親たちへの出前講座等積極的に考えていきたい。

◆小中一貫連携教育について、市内での取組の事例と成果は

〔答〕 教育部長 東中・旭小・三輪野江小・栄小にて研究委嘱を行い強化を図っている。出前授業ふれあいプロジェクト・伝え合

いプロジェクト等により小学校側が積極的に関わる連携の素地が出来てきている。

〔問〕 連携の取り組みの一つとして小学生が部活動に触れる機会を増やしてはどうか。

〔答〕 教育部長 現在も学校公開等の際に部活動の見学をしたりしているが今後も新たな取り組みを検討していく。

◆三世代近居の推奨を

〔問〕 三世代での近居には待機児童問題や介護人手不足の解消等メリットが。ポイント制や補助金等で奨励する取組はいかがか。

〔答〕 健康福祉部長 埼玉県やUR等でも近居支援の取組がなされている。吉川市では未定。

地域の減災力強化。医療依存度の高い在宅療養者の減災対策を

雪田 きよみ

〔問〕 3・11では福島の大規模停電の影響で、当初は大規模停電が懸念された。訪問看護師は医療依存度の高い在宅療養者の生命をどう守るか悩み奔走した。市の認識は如何か。また在宅介護事業所との防災協定が必要では。

〔答〕 健康福祉部長 今後医師会と共に検討していきたい。特性に配慮して支援体制を構築していきたい。在宅介護事業との協定は、事業所でのような協力が可能かとの視点で検討する。

〔問〕 災害時避難行動要援護者名簿の有効な活用方法は。

〔答〕 市民生活部長 今年度自治連合会と民生委員合同の研修会を行った。名簿の取り扱いと情報の共有が難しい。今後も研修を続け、どのように情報の共有ができるか皆さんと検討していく。

〔問〕 政府は介護保険改正案を閣議決定している。3割負担等が導入され、在宅サービス受給者を中心に負担増が見込まれる。

〔答〕 介護保険利用実態調査を

〔問〕 一昨年2割負担が導入されたばかりで、まだ影響評価もされていない。実態調査を行うべき。

〔答〕 健康福祉部長 介護施設とケアマネに、利用者から相談があれば市に連絡するよう伝えていく。今後もこのような方法で実態把握していく。

市道の振動対策を

佐藤 誠治

〔問〕 けやき通り丸和運輸地先の交差点を県道バイパスにむかう市道は振動がひどいとの声が寄せられている。対策は。

〔答〕 都市建設部長 沿道にお住いの方から振動に関する要望を受けている。

現地を確認したところ、塗装の傷みが広範囲にわたっていることから路線全体としてアスファルト舗装を厚くするなど、工事が必要だが、まずは急急的な補修工事を発注するための準備を進めている。

〔問〕 応急対策と同時に路線全体について、いつまでにどのようなにしていくのか。

〔答〕 都市建設部長 まずは応急的に修繕し、その後アスファルト舗装、現在4センチのアスファルト塗装になっているが、そこを10センチの厚みをもたせて、その後、工事ができるようにしていく。なるべく早くできるように努力していく。

◆仮称第4中学校について

〔問〕 仮称第4中学校の通学区について美南地区全体を通学区にするよう求めてきた。

〔答〕 教育部長 関係地区へのチラシ配布と現在は市のホームページへの掲載、施設概要は29教室。

宇宙と今後のまちづくりが関わる可能性について

稲葉 剛治

〔問〕 宇宙飛行士の方や、宇宙に関わりのある方を招いての講演会、ワークショップ等の実施、児童館ワンダーランド全体で「宇宙」をテーマにした催しを行っているかがか。

〔答〕 健康福祉部長 宇宙関連研究機関等の支援事業の活用を検討し、積極的に取り組んで行く。現在、児童館ワンダーランドを

盛り上げる為、全力で取り組みを進めている。質問を参考に、宇宙をより身近に感じられるイベントを検討する。

〔問〕 具体的に宇宙関連研究機関のどのような支援事業の活用を考えているか。

〔答〕 健康福祉部長 JAXAが行っている「宇宙学校」というプログラムの活用を考えている。



児童館ワンダーランド

◆ディフェンスアクションの実施について

〔問〕 幅広い世代、より多くの方に防災減災の取り組みに参加してもらおう手段として、サッカーの動きを取り入れたワークショップ「ディフェンスアクション」を行っているかがか。

〔答〕 市民生活部長 ディフェンスアクションは気軽に参加でき、防災減災を身近に感じてもらう取り組みであると認識している。他自治体の導入事例や、市民のニーズをふまえて研究する。

答えて市長！一般質問―次ページへ続く